

平成26年度(第19回)産業保健調査研究発表会  
平成26年10月30日(木)

# 事業場におけるメンタルヘルス対策事業の 有効性を評価するツールの開発

研究代表者:角田 透(東京産業保健総合支援センター産業保健相談員)  
研究分担者:飯島美世子・斎藤 照代・炭山 隆・錦戸 典子・松井 知子  
森崎美奈子・山田 智子・野田 一雄  
(東京産業保健総合支援センター産業保健相談員)

# 背景

平成24年度の精神障害に関わる労働災害の請求件数は1,257件と前年度に較べ減少したが、支給決定件数については475件と過去最高とあった。

平成25年度では請求件数が1,409件と過去最高となっている。過去5年間において、請求件数も支給決定件数ともに増加傾向にあると言える。

行政の指導や事業者の努力により、労働者のメンタルヘルス対策について意欲的な試みが実践されているが、目に見える成果をあげているとは言い難い状況にある。

# 厚労省資料(1)

表2-1 精神障害の労災補償状況

区 分		年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
精神障害	請求件数		1136	1181	1272	1257	1409
	決定件数 注2		852	1061	1074	1217	1193
	うち支給決定件数 注3		234	308	325	475	436
	(認定率) 注4		(27.5%)	(29.0%)	(30.3%)	(39.0%)	(36.5%)
うち自殺 (未遂を含む。)	請求件数		157	171	202	169	177
	決定件数		140	170	176	203	157
	うち支給決定件数		63	65	66	93	63
	(認定率)		(45.0%)	(38.2%)	(37.5%)	(45.8%)	(40.1%)

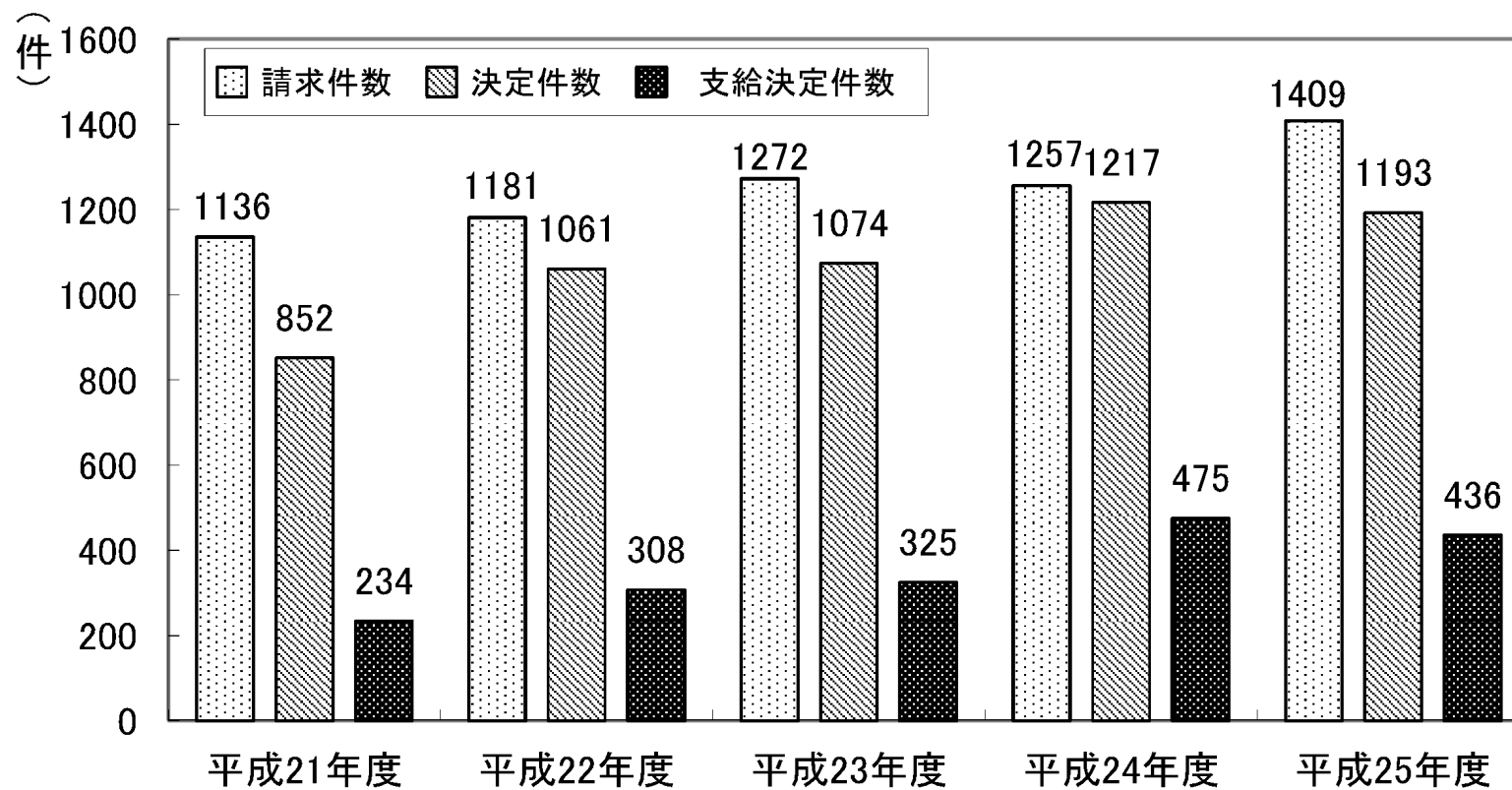
審査請求事案の取消決定等による支給決定状況 注5

区 分		年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
精神障害	支給決定件数 注6		13	15	20	34	12
	うち自殺 (未遂を含む。)		11	7	10	15	5

- 注 1 本表は、労働基準法施行規則別表第1の2第9号に係る精神障害について集計したものである。  
 2 決定件数は、当該年度内に業務上又は業務外の決定を行った件数で、当該年度以前に請求があったものを含む。  
 3 支給決定件数は、決定件数のうち「業務上」と認定した件数である。  
 4 認定率は、支給決定件数を決定件数で除した数である。  
 5 審査請求事案の取消決定等とは、審査請求、再審査請求、訴訟により処分取消となったことに伴い新たに支給決定した事案である。  
 6 審査請求事案の取消決定等による支給決定件数は、上表における支給決定件数の外数である。

# 厚労省資料(2)

図2-1 精神障害に係る労災請求・決定件数の推移



# 調査研究の目的

平成24年度調査研究「現場ニーズに基づいた事業所担当者のためのメンタルヘルス対策支援ツールの開発」において事業場における労働者のメンタルヘルス支援体制を評価するチェックリスト（プロトタイプ）を作成した。

平成25年度調査研究ではチェックリストの評価ツールとしての有用性の検証を行うと共に、問題点について多面的に検討。内容については当然であるが、見やすさや分かりやすさについても検討を加え、より使いやすいツールとなることを目指して検討を行った。

# 調査研究の流れ

## 評価項目の検討

平成24年度調査研究において作成したプロトタイプのチェックリストの評価項目を基礎資料として、複数回の検討会を開催。また、小、中大規模事業場担当者にヒアリングを実施。

## チェックリストの試行・検証

チェックリストの試作版を作成し、東京産業保健総合支援センター利用者にメールマガジンの手法で協力を依頼。このアンケート結果をもとに修正版のチェックリストを作成。

## ホームページへの掲載

本調査研究で作成したチェックリストを、東京産業保健総合支援センターホームページへ掲載。今後は、得られたアンケート結果の分析等を踏まえて改良を予定。

# 評価項目の検討

平成24年度調査研究で作成したプロトタイプのチェックリストについて検討した結果、

対象を「小規模事業場（100人未満）」と「中・大規模事業場（100人以上）」の2通りとすることとした。

それを受けて、小規模事業場2名、中・大規模事業場5名にヒヤリング調査を実施。

また、メンタルヘルスに関連する労働衛生管理について多角的な視点が必要であることが確認された。

# 評価軸の設定

評価内容を区分して六つの指標とし、それらを“軸”と呼ぶこととした。具体的には次の

- I. 労働衛生管理体制
- II. 労働衛生管理事業
- III. メンタルヘルス対策（一次予防）
- IV. メンタルヘルス対策（二次・三次予防）
- V. コミュニケーション・職場風土
- VI. 上司の支援・仕事の仕方

6軸である。



# 回答点数配分

各質問項目について、「実施している」「ある」など良好な状態を10点、「実施していない」「ない」「わからない」などを0点とし、中間的な回答については原則5段階評価とした。

ただし、質問によっては、2者択一や3、4段階の選択肢から選択する場合もあり、柔軟な配点となっている。

各軸ごとに見ると質問項目数が異なるが、各軸とも満点を20点となるように調整計算することとして総合評価することとした。

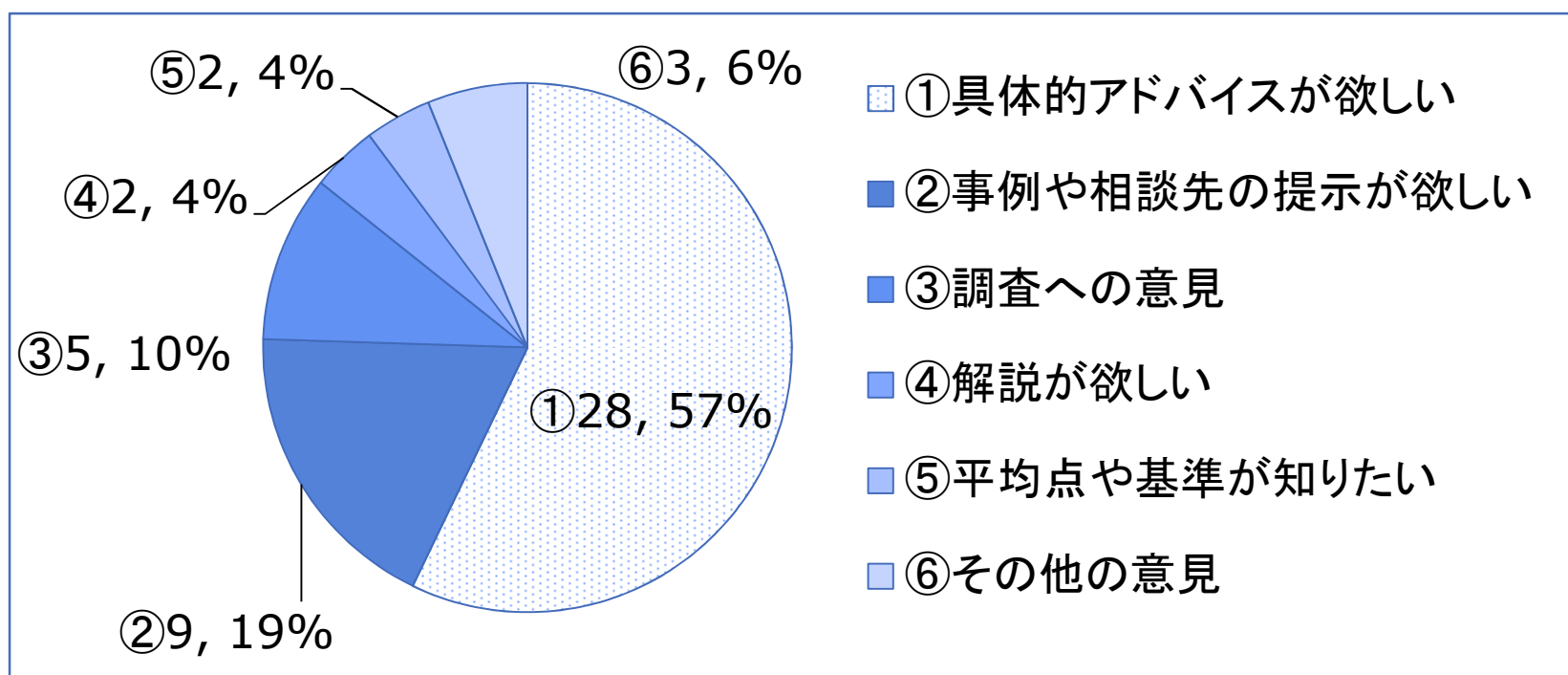
# チェックリストの試行・検証

平成26年2月6日～2月13日の8日間に、東京産業保健総合支援センター利用者を対象にメールマガジンの手法により9,016名にチェックリスト試行の協力を依頼した。

そのうちの410名(約4.5%)から試行への協力が得られ、さらに複数項目のアンケートに対して279名(約68%)から回答が寄せられた。

# チェックリストへの意見

アンケート回答者のうち、結果のフィードバック（アドバイス）への意見については110名の方から回答があり、うち49名の方からは具体的な意見が得られた。内訳は以下の通りである。



(%の数字は110名に対してのもので)

# 東京産保ホームページ

独立行政法人 労働健康安全機構  
東京産業保健総合支援センター  
Tokyo Occupational Health Promotion Center

産業保健活動に携わる皆様を応援します

利用時間  
午前8時30分～午後5時15分  
相談窓口は午後1時30分～午後4時30分  
休日：毎週土・日曜日、祝祭日、年末年始

産業保健相談員  
相談日のご案内  
ELISERU  
さんぽん

マイページログイン  
利用者番号  
パスワード  
ログイン  
※パスワードを忘れた方は[こちら](#)  
※新規登録(無料)

産業保健情報  
労働者のハンドブック  
産業保健21  
産業保健調査研究  
関係機関リンク  
海外勤務者の健康支援

TOPICS  
☆☆☆『アクセスマップ(pdfファイル)』☆☆☆ TEL: 03-5211-4480  
〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F  
★産業保健活動総合支援事業のご案内★  
平成26年4月から当センター名称が「東京産業保健総合支援センター」へ変わり(旧 東京産業保健推進センター)新しい支援体制がスタートしました。  
詳細は下記リーフレットをご覧ください。  
[リーフレット\(表\)](#) [リーフレット\(裏\)](#)

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14

東京産保HPトップページ

## 職場のメンタルヘルス取組状況評価表 (チェックリスト)

### 職場のメンタルヘルス取組状況評価表 (チェックリスト)

複数の事業場を受け持っている方は、一つの事業場を想定してご回答ください。

#### 基本情報

##### Q1. あなたの職種

- 産業医
- 保健師・看護師
- 衛生管理者
- 人事労務担当者
- 経営者
- その他

##### Q2. 勤務先の事業所の業種

- 製造業
- 卸売業・小売業
- 運輸業
- 情報通信業
- 建設業
- 金融・保険業
- その他のサービス業
- その他

基本情報質問画面

# チェックリスト項目

- 基本情報（職種、業種、事業場規模）以降は、事業場規模により質問内容が異なる。

＜小規模事業場向け＞ （労働者数：100人未満）		＜中・大規模事業場向け＞ （労働者数：100人以上）			
I	職場の仕組み・ルール	8問	I	労働衛生管理体制	9問
II	健康づくり	5問	II	労働衛生管理事業	5問
III	メンタルヘルス対策 （一次予防）	6問	III	メンタルヘルス対策 （一次予防）	7問
IV	メンタルヘルス対策 （二次・三次予防）	5問	IV	メンタルヘルス対策 （二次・三次予防）	6問
V	コミュニケーション・職場風土	13問	V	コミュニケーション・職場風土	10問
VI	上司の支援・仕事の仕方	5問	VI	上司の支援・仕事の仕方	6問
合 計		42問	合 計		43問

# チェックリスト結果（例）

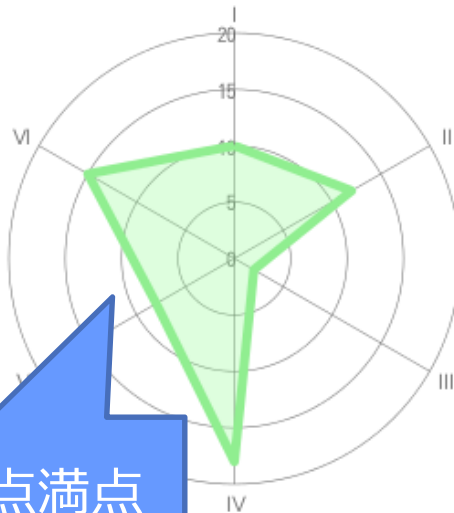
## 職場のメンタルヘルス取組状況評価表（チェックリスト）

### 結果報告

結果報告後、ご感想をお聞かせ下さい。

総合点数

項目別レーダーチャート



### 合計得点

**65 / 120**

各軸を20点満点として結果を表示

総合評価  
コメント

メンタルヘルス対策には力を入れていらっしゃるようですが、一次予防対策にも力が入られるとさらに良いでしょう。メンタルヘルス対策はまず、経営者がメンタルヘルス対策に取り組むことを宣言するところから始まります。そして、対策の推進者を決めたり、管理監督者や従業員にメンタルヘルスやセルフケアの教育等の実施といったメンタルヘルス対策指針に基づいた体制の整備も欠かせません。それによって、メンタルヘルス対策はより一層効果を上げると思われます。具体策等についてはお近くの産業保健総合支援センターにご相談ください。

印刷する

# 評価軸ごとの評価結果（例）

カテゴリ	得点	コメント
I 労働衛生管理体制	10 / 20	法は順守されていますが、利用しやすい運用を考えましょう。
II 労働衛生管理事業	12 / 20	労働衛生管理体制は整備されていますが、運営の充実が望まれます。
IIIメンタルヘルス対策 （一次予防）	2 / 20	メンタルヘルス対策指針に基づき体制の整備と実行が必要です。
IVメンタルヘルス対策 （二次・三次予防）	18 / 20	メンタルヘルスの二次・三次予防対策は望ましいレベルにあります。今後もこのレベルの維持に努めましょう。
Vコミュニケーション・職場風土	8 / 20	職場風土づくりに今ひとつの工夫が望まれます。
VI上司の支援・仕事のしかた	15 / 20	上司・部下は望ましい関係にあります。今後もこの状況の維持に努めましょう。

引き続き、ご感想をお聞かせ下さい。

次へ

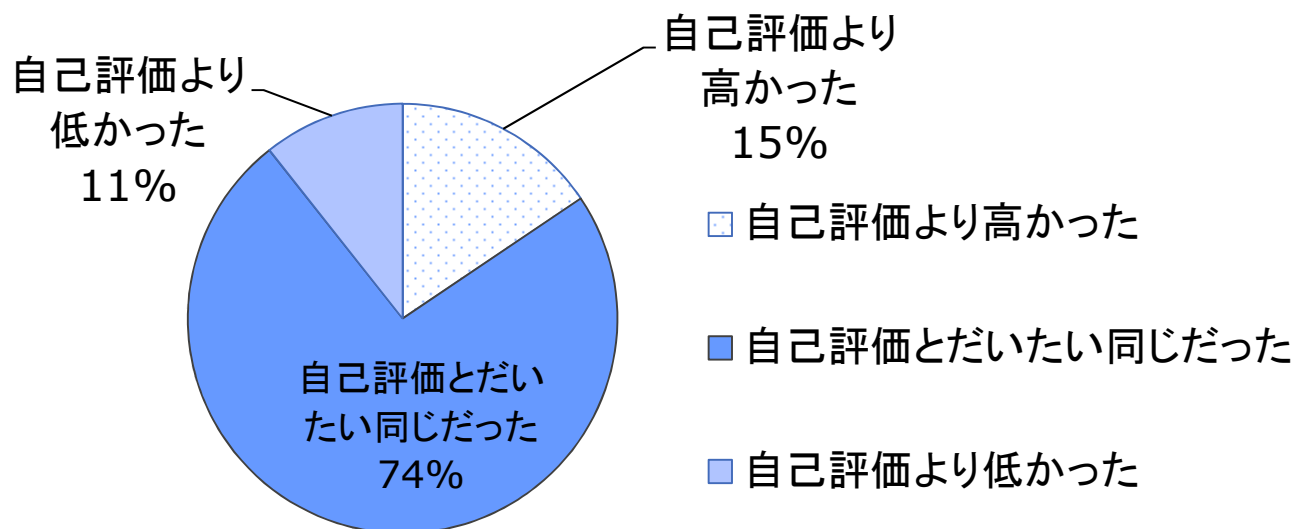
次頁で利用後の  
アンケートを実施

# HP掲載後のアンケート結果

集計期間 : 平成26年7月8日掲載時から9月30日まで  
チェックリスト利用数 : 1,074件  
アンケート回答数 : 244件

質問内容 Q1 : チェックリストから得られた評価は、自己評価と合っていましたか。  
Q2 : 職場風土作りで工夫していることがありますか。  
Q3 : ご意見、ご感想をお願いします。

## Q1 : チェックリストから得られた評価は、自己評価と合っていましたか？





# アンケートの回答(自由意見)より

## 【肯定的な意見】

- ・ こうして一つひとつにチェックを入れると、自社がいかにメンタルヘルス対策を実行していないかが良くわかりました。
- ・ チェックリストで改めて、会社内の状況が理解できた。
- ・ 会社の体制について分からないことが沢山あると感じた。
- ・ 少し設問が多いのですが、無理なく答えられました。現在いる職場の状況を自分なりに振り返る機会となります。他の方にも勧めたいと思いました。
- ・ 多方面からの質問で非常によかった。
- ・ なかなか良いチェックリストだと思います。コメントがとても解りやすいと思いました。活用して行きたいと思います。
- ・ 違う立場でチェックをしてもらい、お互いの認識の違いをきちんと把握して、今後の取組みに活用していけたらよいと思う。
- ・ もっとこのようなテストを普及するようなPRを実施してほしいと思います。

## 【批判、アドバイスなどの意見】

- ・ 回答者の属性(職位・職種・性別など)によって、同じ企業内の回答者であっても、結果が異なりますので、複数人で実施し、その結果を平均化するなど(個人情報取り扱いが重要)、少し工夫が必要かと思いました。
- ・ 零細企業だと実施が難しい項目が多数あった。
- ・ 形式的な制度が多い感じがした。

# 今後の方向性について

今後もホームページ上に掲載を続けることにより、より多くのデータの収集に努め、相当数のデータが確保された段階で改めて検討を行い、事業場におけるメンタルヘルス施策の充実状況を測定・評価するチェックリストとしての機能をより向上させたいと考えている。

また、このチェックリストが、どの程度の評価能力（有用性）があるのか、帰納的な手法により検討することによりチェックリストとしての性能の向上（改良）が可能であると考えている。



ご清聴ありがとうございました